



ふれあい 放水路

1996
(平成8年)
第22号
1月



迎春

佐田町 竹細工 (勝部誠次さんの作品)

平成八年の年頭に当たり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は、斐伊川放水路事業の推進に当たり、地域の皆様をはじめ関係者の方々の多大なご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

斐伊川放水路事業に関連して、二五にも及ぶ橋の新築・改築が計画されておりありますが、昨年十月に、その先頭を切つて、神門塚橋が竣工いたしました。また、昨年から古志橋、崎屋橋等の構造物や開削部の工事用道路の改築工事に着手しており、放水路事業も本格的に動き始めております。

本年は、昨年に引き続き、用地買収や埋蔵文化財調査、掘削・築堤、工事用道路の建設、橋梁や水門等の構造物の改築工事などを推進するとともに、残土処理場の防災調節池にも着手することとしております。

引き続き、本事業に対するご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

建設省出雲工事事務所長

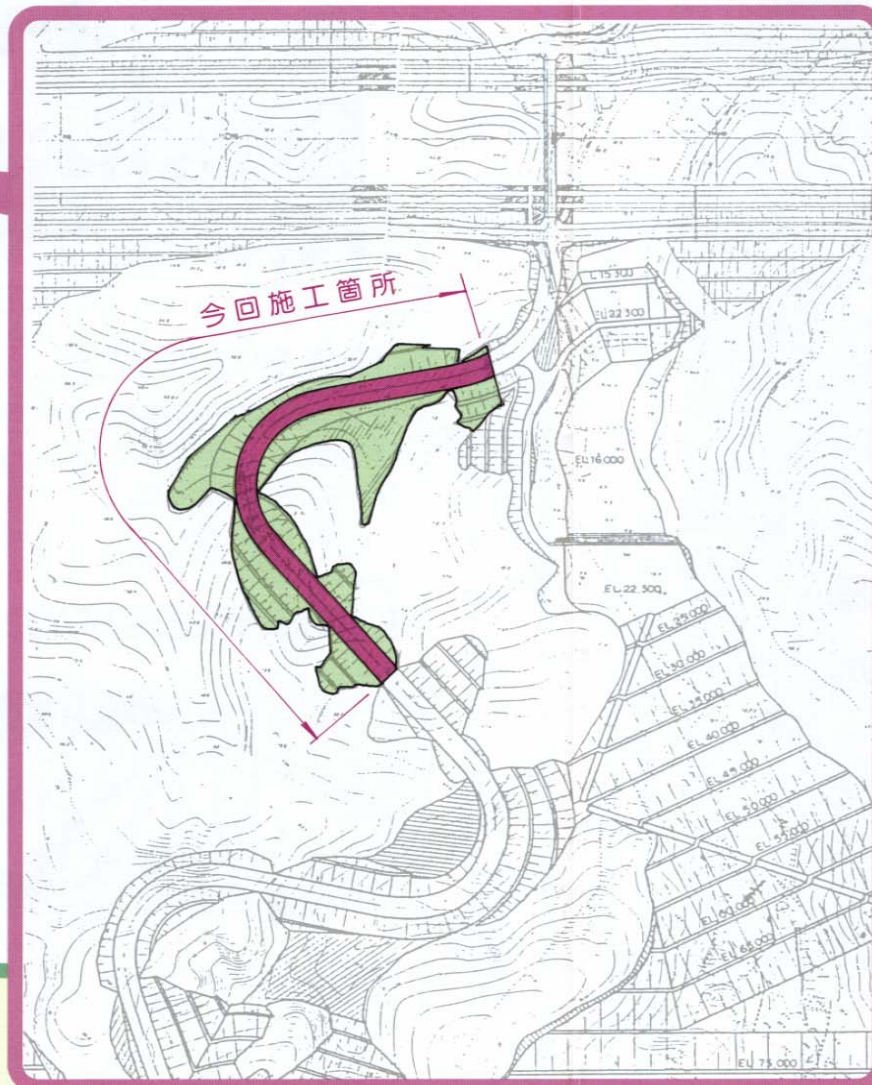
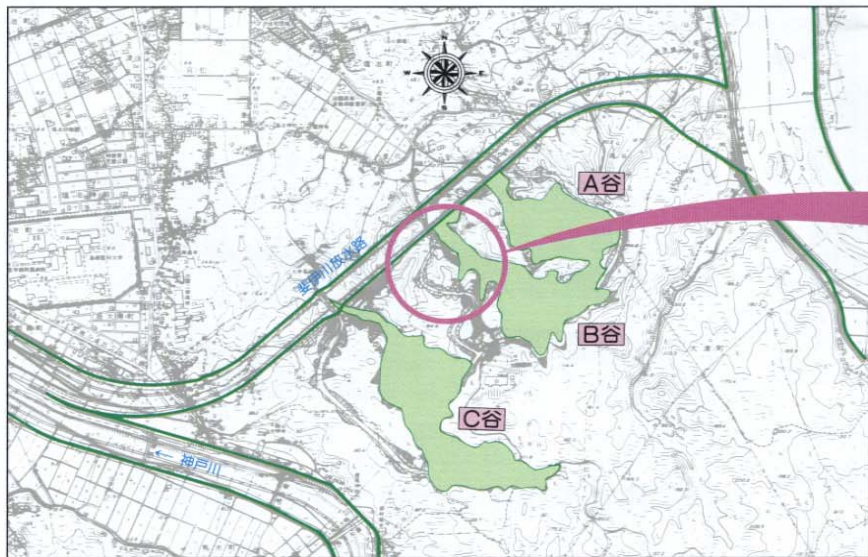
池内 幸司

進むB谷(狐廻谷)の道路工事

斐伊川放水路事業の残土処理場となるグリーンステップの周辺の道路工事が急ピッチで進んでいます。この道路は、放水路事業で発生する残土を運搬するための工事用道路ですが、放水路完成後は市道として一般に開放される予定です。

平成7年度は、B谷の工事用道路のうち、約330mについて施工します。

※グリーンステップの施工は、工事調整の都合によりB谷から着手しています。



グリーンステップとは？

放水路事業で発生する残土は、開削部南部の3つの谷(蟹谷(A谷)、狐廻谷(B谷)、大井谷(C谷))に運び、階段状に盛土し、その斜面を緑で覆います。これをグリーンステップ(緑の階段)といいます。

この跡地は、将来、島根県で利用する計画があります。

今回の工事では、約40,000m³の土砂を切土や盛土をし、工事用道路をつくります。大量の土砂を動かすため、大型の建設機械を使用します。

(62t級) ブルドーザー (21t級)



土を押ししたり、平らにならしめます。



アーティキュレート
ダンプトラック (30t級)



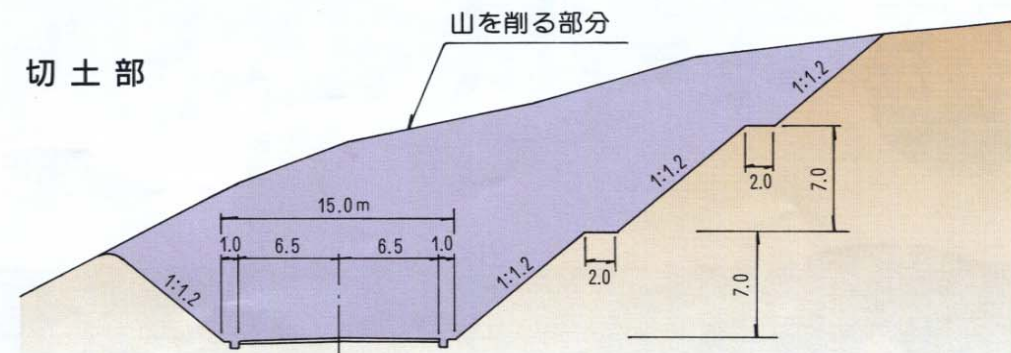
土を運びます。

バックホウ (1.6m³級)

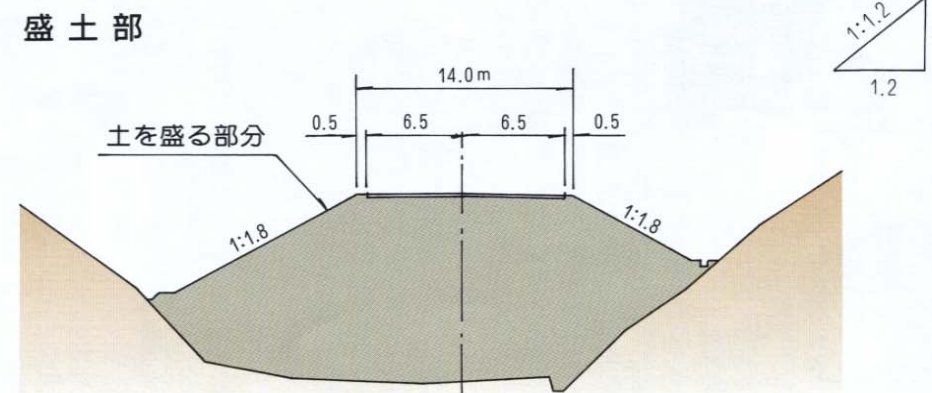


土を掘ったり、積み込んだり、
法面(斜面)を整えたりします。

標準断面図



図中の1:1.2, 1:1.8は高さ
幅の比率を表しています。



切土部の完成した様子

☆現場からひとこと☆



今回の工事区域には、砂岩、凝灰岩、礫岩といったいろいろな種類の堆積岩が分布しています。その岩の性質を見極めるのが大変難しく、また、当初予想していたものよりも硬い岩であったため、大型の機械に頼らざるを得ませんでした。

このような工事では、岩の性質により工事の進み具合が大きく左右されることを思い知りました。

工事請負企業の現場代理人 鐘 築 厚 巳

平成7年 出雲工事事務所10大ニュース



阪神・淡路大震災に対する 支援隊派遣

出雲工事事務所から職員6名が被災地へ行き、復旧の支援活動を行いました。



放水路工事室設置

放水路工事のプロジェクトチームとして「放水路工事室」を設置し、工事体制の強化を図りました。

神門塚橋が完成



出雲市 古志町

向原代替宅地竣工

斐伊川放水路事業の実施に伴って集団移転される向原地区の方々の代替宅地が完成し、家屋の新築工事などが一斉に始まりました。

松江堀川浄化事業の試験通水始まる

末次ポンプ場改築工事が10月末に完成し、12月7日から松江堀川に宍道湖の水を通年導水するための導水試験を始めました。

湊山公園の親水護岸が完成



米子市 湊山公園

古志橋、崎屋橋、新内藤川水門関連の工事に着手

工事の様子をこれからも紹介していきます。

「斐伊川誌」 「斐伊川水系の小動物」発行



水質事故対策の強化

斐伊川水系水質汚濁防止連絡協議会は、近年の水質事故の多発やサリン事件を契機に、組織体制を強化しました。
(斐伊川水系には、宍道湖、大橋川、中海が含まれます。)



**建設省中国地方建設局
出雲工事事務所**
〒693 出雲市塩冶有原町5丁目1番地
☎(0853)21-1850

本誌に関するご意見やご要望などがございましたらお寄せください。

問い合わせ先：ふれあい放水路担当

「船津 原さつき園」の整備



斐伊川堤防において「船津原さつき園」を整備し10月27日には、地元の方々と共に、サツキやツツジなど1,200本を記念に植えました。

出雲市船津町 船津 原さつき園